

Always Smiling, Orthodontics !



株式会社アソインターナショナル
2024年6月期第3四半期決算説明資料

2024年5月13日(月)



ASO International, Inc.

ASO International, Inc.
Orthodontic Laboratory Services

東京証券取引所スタンダード市場
【証券コード9340】





2024年6月期第3四半期累計期間決算概要



売上高2,589百万円、前年同期比223百万円増収 (+9.4%)
営業利益360百万円、同47百万円増益 (+15.2%)
経常利益367百万円、同92百万円増益 (+33.6%)
当期純利益222百万円、同6百万円増益 (+2.8%)

3四半期累計期間**過去最高収入更新**

すべての利益項目で前年同期比増益

売上高

- ①社会的な審美意識の高まり、未病改善取組拡大等矯正歯科治療のニーズは引き続き堅調に推移
- ②デジタル製造矯正装置が前年比79.1%増収、商品売上高26.1%増収、1月発売口腔内スキャナーが貢献
- ③海外売上高39.1%増収、海外売上高比率は4.5% (前年同期3.5%)

利益

- ①売上総利益：対ドル・ユーロの円安継続による材料費高止まりだが個別固定費率低下で前年を上回る粗利率
- ②営業利益：人件費増加を他費用比率低下カバーし売上高販管費比率低下、営業利益率は13.9%、15.2%増益
- ③経常利益：前年上場費用消え33.6%増益
- ④当期純利益：前年特別利益消滅、法人税増加により前年並みの純利益、2.8%増益に留まる

主なトピック

- ①デジタル製造製品推進を継続、マウスピース全顎対応型製品販売に注力
- ②歯科医院のDX化を促す口腔内スキャナー「WE SCAN」を発売(1月)
- ③米国現法設立を決議(2月)、布石として米国矯正歯科医会日本学術会へゴールドスポンサーとして協賛(3月)

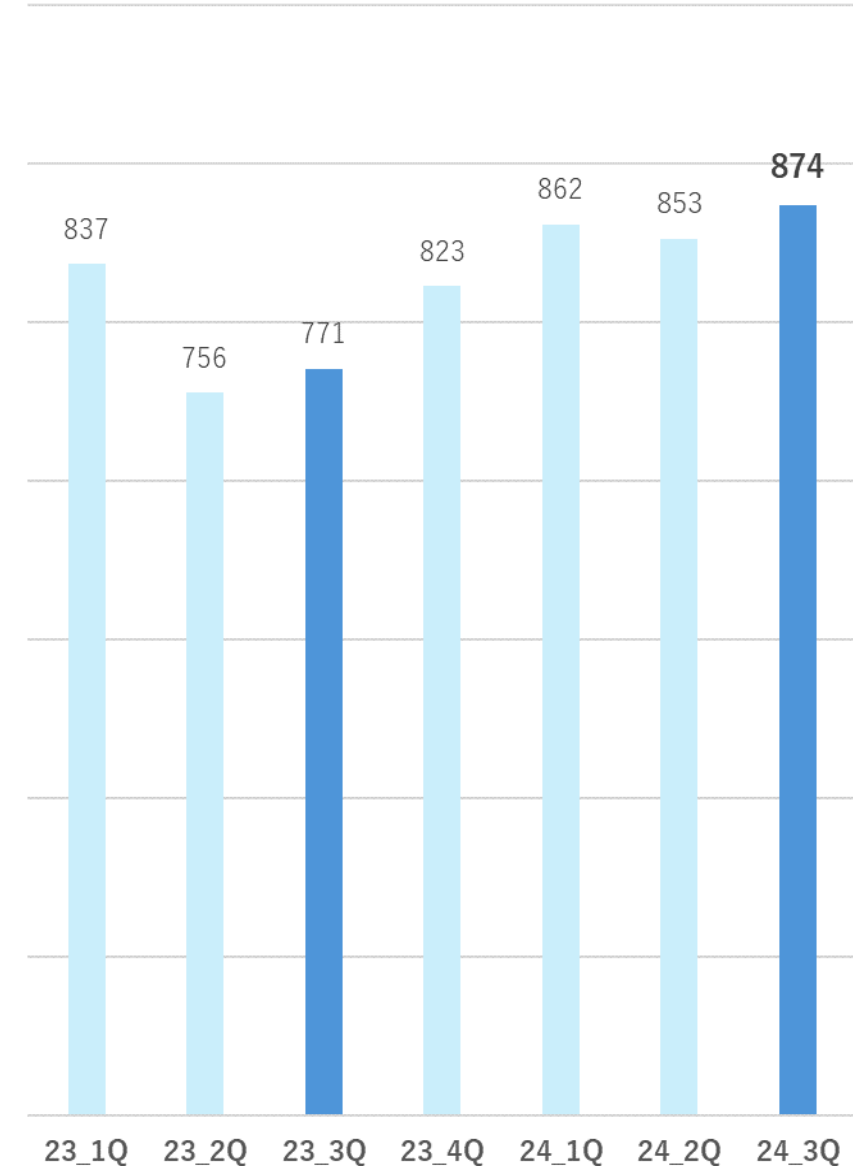
(単位：百万円)

科目	2023年6月期3Q累計 (2022年7月-2023年3月)		2024年6月期3Q累計 (2023年7月-2024年3月)		前年同期比		2023年6月期 (2022年7月-2023年6月)	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減比	金額	売上比
売上高	2,366	100.0%	2,589	100.0%	+223	+9.4%	3,190	100.0%
売上原価	1,326	56.1%	1,445	55.8%	+118	+8.9%	1,760	55.2%
売上総利益	1,039	43.9%	1,144	44.2%	+105	+10.1%	1,429	44.8%
販売費及び一般管理費	726	30.7%	783	30.3%	+57	+7.9%	969	30.4%
（うち人件費）	369	15.6%	415	16.0%	+28	+11.4%	500	15.7%
（うち減価償却費）	4	0.2%	11	0.4%	+6	+135.1%	8	0.3%
営業利益	313	13.2%	360	13.9%	+47	+15.2%	460	14.4%
営業外収益	7	0.3%	12	0.5%	+5	+78.9%	10	0.3%
営業外費用	45	1.9%	6	0.3%	-39	-85.7%	36	1.1%
経常利益	274	11.6%	367	14.2%	+92	+33.6%	433	13.6%
特別利益	49	2.1%	0	0.0%	-48	-98.9%	49	1.6%
特別損失	-	-	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	324	13.7%	367	14.2%	+43	+13.4%	482	15.1%
法人税等	104	4.4%	149	5.8%	+44	+42.4%	154	4.8%
法人税等調整額	3	0.1%	-3	-0.1%	-6	-206.2%	-10	-0.3%
税引後当期純利益	216	9.1%	222	8.6%	+6	+2.8%	338	10.6%

前年同期（1月-3月）売上高13.3%増収、営業利益41.8%、経常利益49.0%増益

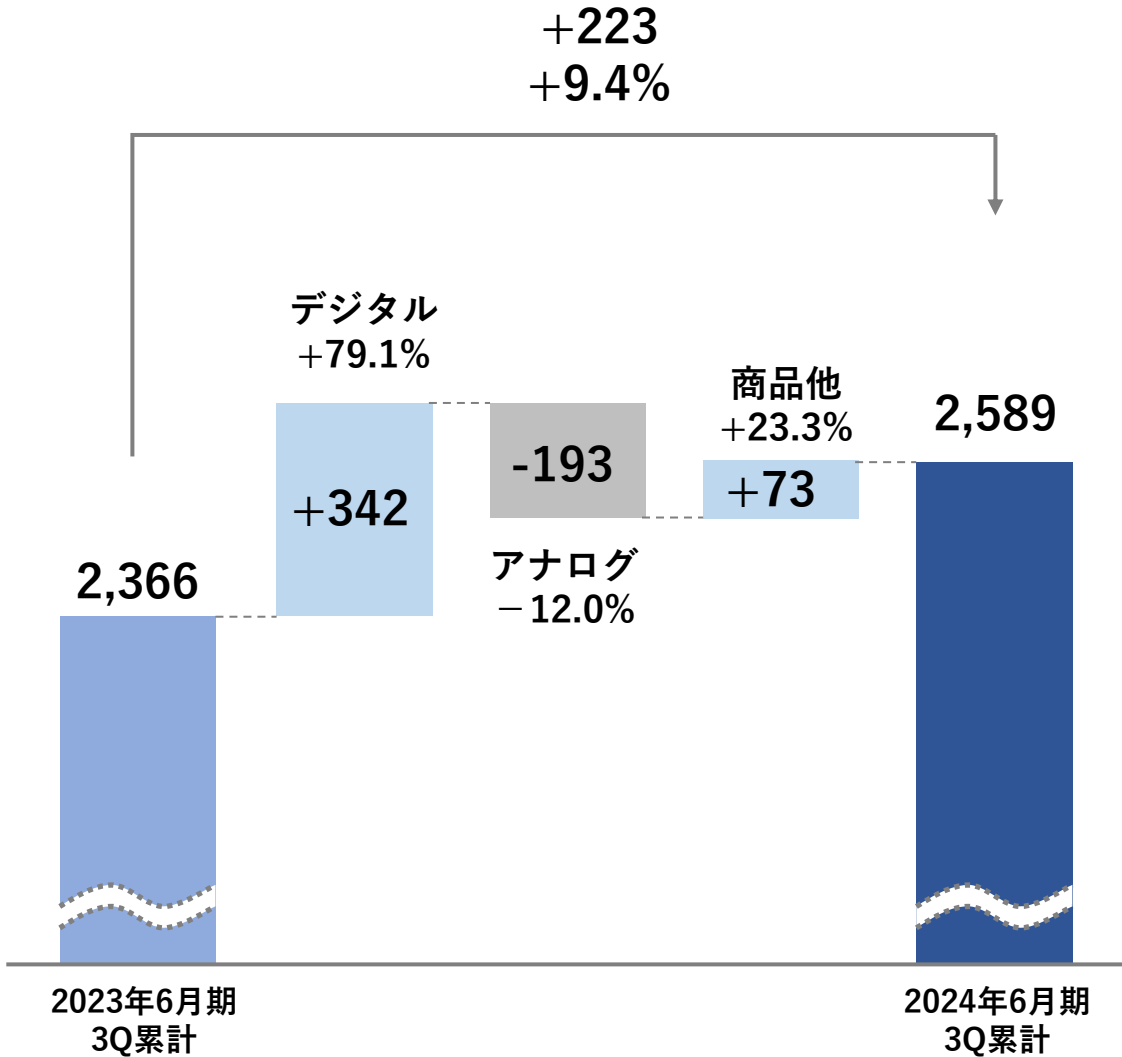
連結売上高（四半期毎）の推移 （単位：百万円）

科目	2023年6月期3Q (2023年1月-3月)		2024年6月期3Q (2024年1月-3月)		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減比
売上高	771	100.0%	874	100.0%	+102	+13.3%
売上原価	420	54.5%	470	53.8%	+49	+11.8%
売上総利益	351	45.5%	404	46.2%	+52	+15.0%
販売費及び一般管理費	246	31.9%	255	29.2%	+8	+3.5%
（うち人件費）	119	15.4%	135	15.5%	+28	+11.4%
（うち減価償却費）	1	0.2%	3	0.4%	+2	+129.2%
営業利益	105	13.6%	149	17.1%	+43	+41.8%
営業外収益	5	0.7%	15	1.7%	+9	+181.4%
営業外費用	0	0.1%	0	0.0%	+0	-31.6%
経常利益	109	14.2%	163	18.7%	+53	+49.0%
特別利益	38	5.0%	0	0.0%	-38	-100.0%
特別損失	-	-	-	-	-	-
税引前当期純利益	148	19.3%	163	18.7%	+15	+10.2%
法人税等	46	6.0%	63	7.3%	+17	+38.1%
法人税等調整額	0	0.0%	-2	-0.3%	-2	-
税引後当期純利益	102	13.3%	102	11.7%	+0	+0.2%

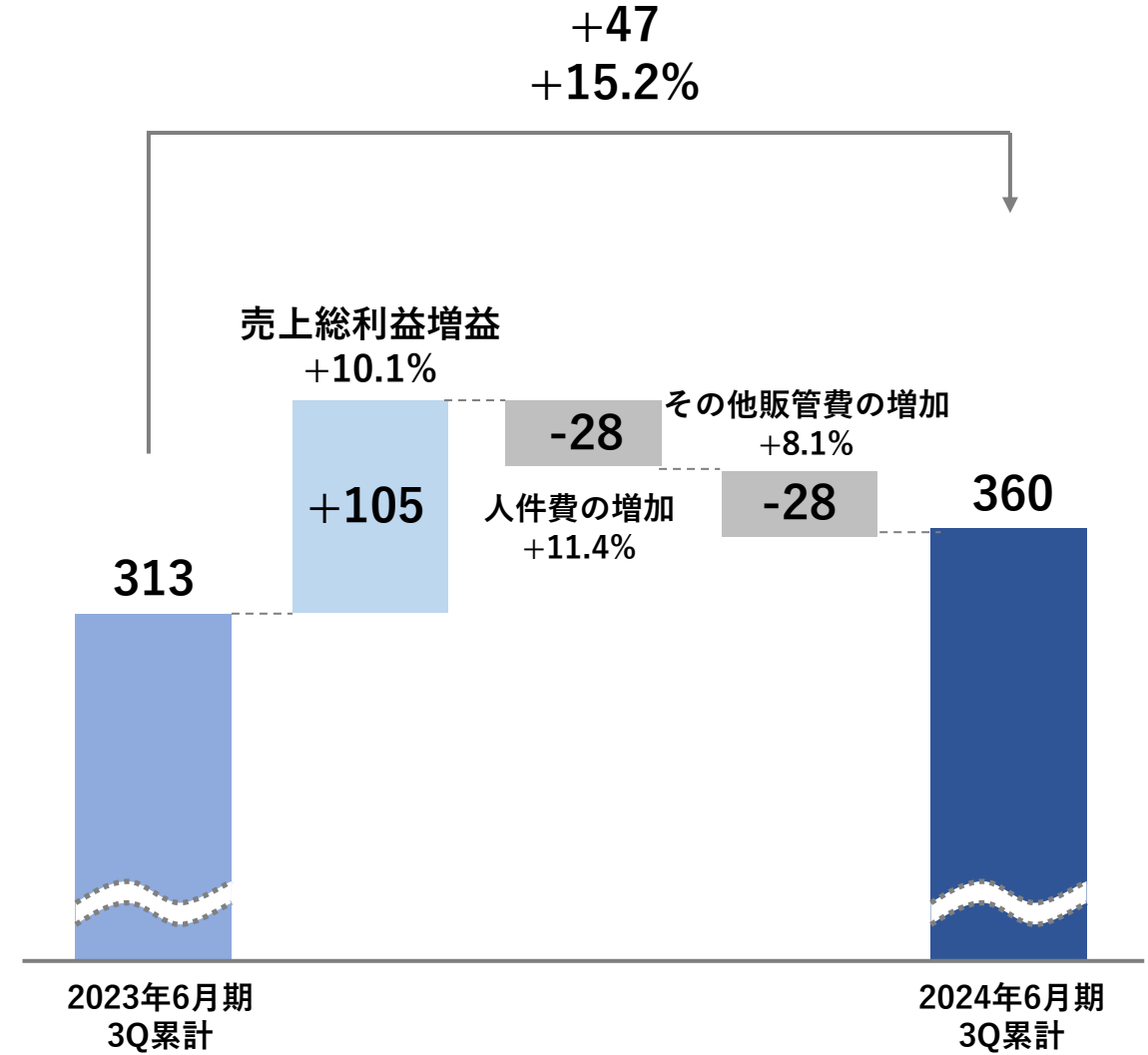


(単位：百万円)

売上高



営業利益



商品別売上高・国内外売上高／デジタル製造比率の推移

商品別売上高	2023年6月期3Q累計 (2022年7月-2023年3月)		2024年6月期3Q累計 (2023年7月-2024年3月)		増減	増減比
	金額	構成比	金額	構成比		
連結売上高合計	2,366	100.0%	2,589	100.0%	+223	+9.4%
矯正歯科技工物売上高	2,048	86.6%	2,198	84.9%	+149	+7.3%
アナログ製造 ※1	1,615	68.3%	1,422	54.9%	-193	-12.0%
デジタル製造 ※2	433	18.3%	776	30.0%	+342	+79.1%
商品売上高	297	12.6%	374	14.5%	+77	+26.1%
その他売上高	20	0.8%	16	0.6%	-3	-18.2%

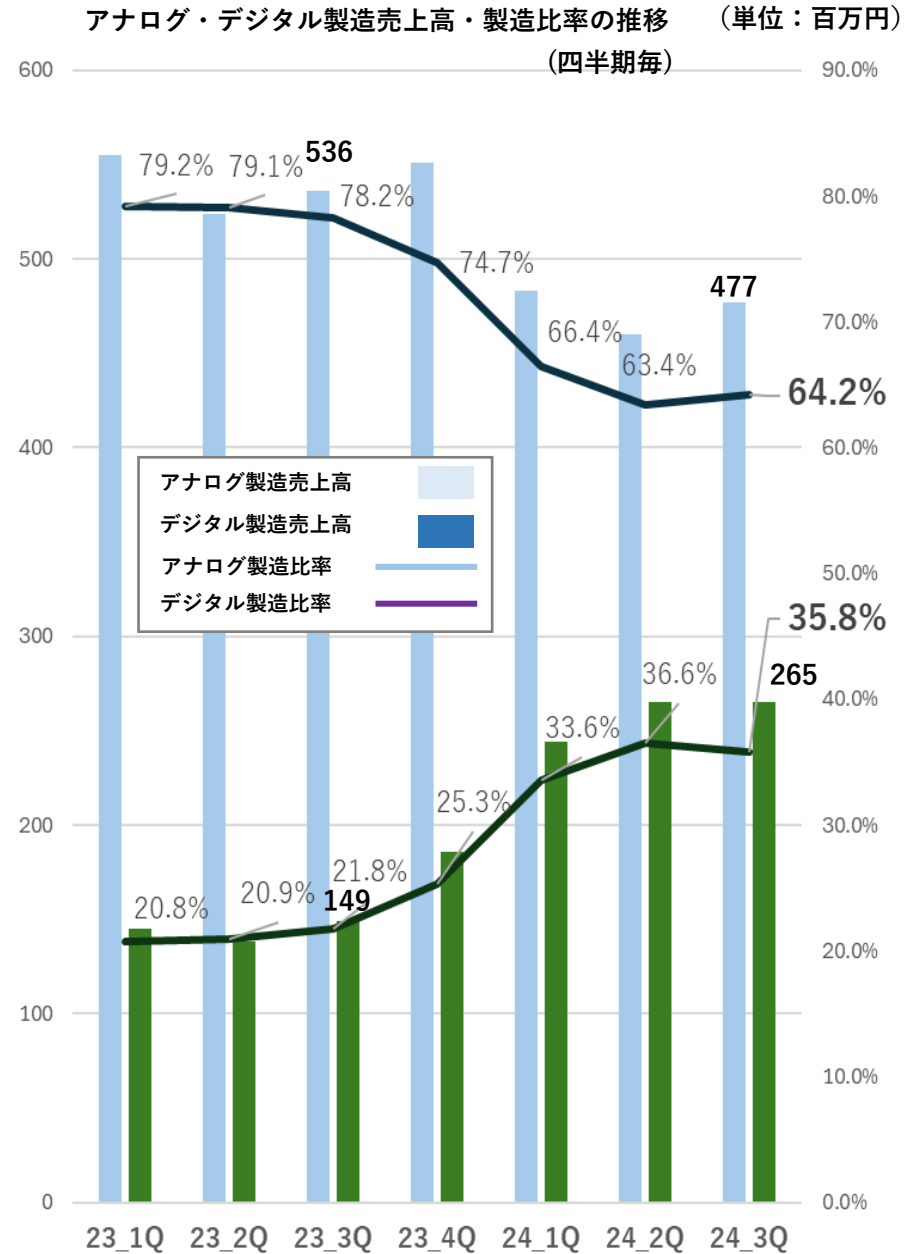
アナログ製造 78.9% → 64.7%
デジタル製造 21.1% → 35.3%

※1 アナログ製造：矯正プレート、ファンクショナルワイヤー装置、リテーナー(保定装置)、スタディモデル(石膏模型)等

※2 デジタル製造：アライナー(マウスピース)型矯正装置、デジタルセットアップ矯正装置、デジタルサービス等

国内外売上高	2023年6月期3Q累計 (2022年7月-2023年3月)		2024年6月期3Q累計 (2023年7月-2024年3月)		増減	増減比
	金額	構成比	金額	構成比		
連結売上高合計	2,366	100.0%	2,589	100.0%	+223	+9.4%
国内売上	2,282	96.5%	2,473	95.5%	+190	+8.4%
海外売上 ※3	83	3.5%	116	4.5%	+32	+39.1%

※3 海外売上：米国ハワイ州、米国本土、オーストラリア、ベトナム、欧州等



(単位：百万円)

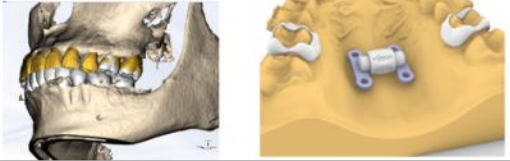
科目	2023_3Q (2023年3月末)		2023_4Q (2023年6月末)		2024_3Q (2024年3月末)		科目	2023_3Q (2023年3月末)		2023_4Q (2023年6月末)		2024_3Q (2024年3月末)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
流動資産	2,166	82.5%	2,353	83.3%	2,473	83.6%	流動負債	264	10.1%	343	12.2%	352	11.9%
当座資産	1,969	75.0%	2,138	75.7%	2,293	77.5%	買掛金	117	4.5%	132	4.7%	127	4.3%
現預金	1,615	61.5%	1,727	61.1%	1,873	63.3%	契約負債(定額矯正装置契約残)	-	0.0%	7	0.3%	22	0.8%
売掛金	353	13.5%	410	14.5%	419	14.2%	その他の流動負債	147	5.6%	202	7.2%	202	6.8%
たな卸資産	159	6.1%	178	6.3%	130	4.4%	固定負債(資産除去債務)	16	0.6%	16	0.6%	17	0.6%
商品・製品	62	2.4%	70	2.5%	51	1.8%	負債合計	281	10.7%	360	12.8%	369	12.5%
仕掛品・材料	97	3.7%	107	3.8%	79	2.7%	株主資本	2,357	89.8%	2,480	87.8%	2,602	88.0%
その他の流動資産	37	1.4%	37	1.3%	48	1.7%	資本金	350	13.3%	350	12.4%	351	11.9%
固定資産	458	17.5%	472	16.7%	485	16.4%	資本剰余金	340	13.0%	340	12.1%	341	11.6%
有形固定資産	104	4.0%	101	3.6%	102	3.5%	利益剰余金	1,666	63.5%	1,788	63.3%	1,909	64.5%
無形固定資産	57	2.2%	56	2.0%	46	1.6%	その他包括利益累計額	-13	-0.5%	-15	-0.5%	-13	-0.5%
投資その他資産	297	11.3%	315	11.2%	336	11.4%	純資産合計	2,343	89.3%	2,465	87.2%	2,588	87.5%
資産合計	2,625	100.0%	2,826	100.0%	2,958	100.0%	負債・純資産合計	2,625	100.0%	2,826	100.0%	2,958	100.0%



The *Edward H. Angle*
Society of Orthodontists

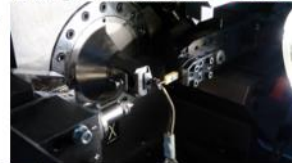
米国カリフォルニア州の有力矯正歯科ドクター30名が来日
国家資格を持つ歯科技工士による高品質・高付加価値当社製品をアピール
米国現地法人設立後の受注獲得に布石

Our products are manufactured by **Nationally Certified Dental Technicians** who actively communicate with dentists.
We manufacture highly accurate orthodontic devices **tailored to each patient.**



SYMPHONY
Full Digital Indirect Bonding System

Bending wires including NiTi in seconds

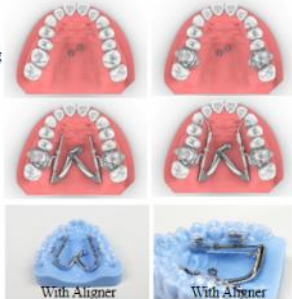


Alveolar bone and tooth root information can be displayed on the setup



SHU-lider.

An orthodontic device with sliding mechanism that combines innovative **digital technology** together with **metal 3D printing.**



The Edward H. Angle Society of
Orthodontists

(アングル矯正歯科医会)

1930年設立、米国を中心とした矯正歯科専門医の世界的な学会。
全米7支部をもつ。

歯科専門職と矯正歯科の専門性を育成し、支援し、奨励し、進歩させること等を主な目的としている



エドワード・H・アングル (1855年-1930年)

アメリカ・ペンシルバニア州生まれ、20世紀で最も影響のある歯科矯正医であり、矯正歯科分野の発展に大きく貢献したことで知られる。

1876年にペンシルベニア歯科大学を卒業、欧州へ渡り、矯正歯科の技術と理論について学ぶ。帰国後、歯と顎の位置が正常でない状態を指す「不正咬合」という用語を世の中に広く知れ渡らせる。「矯正の父」とも呼ばれる。



2024年6月期第4四半期の施策と通期見通し



下半期の戦略サマリー（第2四半期決算説明資料掲載）

- ① デジタル矯正装置製品・保定装置の継続的販売に注力・価格改定を想定
- ② 矯正歯科業界全体のDX化推進（口腔内スキャナー、3Dプリンター、デジタルサービス等）
- ③ 海外市場売上拡大に向けて米国現地法人設立と製造キャパシティ拡大

①-1 価格改定

6月1日受注分から主にアライナー、ポジションナー等の値上げを行う増収寄与は年度内1か月分、2025年6月期寄与

①-2 アソアライナーのリブランディングとBtoCプロモーション強化

GALLEIDO AsoAligner（アライナー型矯正治療マッチングサービス）を5月13日から開始

② DX化サポート商品の販売強化（口腔内スキャナー「WE SCAN」、3Dプリンター等）

実践セミナー等を通じ、DX化サポート商品の啓発を継続

③-1 米国現地法人ASO International USA設立・北米新規顧客の獲得

アングル矯正医会日本学会（3/24～27）参加ドクターへのフォローアップ
 世界最大の矯正歯科カンファレンスAAO(American Association of Orthodontists) 2024
 米国矯正歯科協会総会（5/3～6、@米国ニューオーリンズ）へ出展し
 矯正装置製品プロモーションと新商材発掘

③-2 ASO International Manilaの製造キャパシティ拡大

12月末247名→3月末260名→2025年6月期中300名体制へ向けて採用活動・社員教育研修継続
 3Dプリンター追加導入（4月）

お客様各位

一部技工料金及び商品価格改定のお知らせ

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。いつもご愛顧賜りまして厚く御礼申し上げます。

技工料に関して、為替の変動による更なる材料費、資源・エネルギー価格高騰など、これまで各種コストを吸収すべく企業努力を重ねてまいりましたが、それだけでは対応することが難しくなり、誠に不本意ではございますが、一部下記技工物に関しての価格改定をお願いせざるを得ない状況となり、ご連絡させていただきます。甚だ勝手とは存じますが、諸事情をご察察賜り、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。これからも先方のお役に立てる製品をご提供できまよう、社員一丸より一層努力をいたす所存でございます。引き続き弊社商品をご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。 敬具

記

一部技工料金、商品価格改定（2024年6月1日弊社受注分から）

ASOaligner関連（新規患者分※継続患者は従来料金）	新料金	
1ステップ（片側）		
複数ステップの1ステップ単体（片側）		
シミュレーションムービー		
追加アライナー		
CHANGE関連（新規患者分※継続患者は従来料金）	新料金	
CHANGE（2年固定額）		
ディテールアライナー（1年間固定額・リファイン3回まで）		
ポジションナー関連	新料金	
ポジションナー（※セットアップ料金は従来料金）		
リンガルアライアンス		
コアの取組	ポジションング代（1個）	コア代（1個）
ハイブリッドコア		
CRC		
コモンベース		
ラピッドIBS		
アーチワイヤー		
フローティングジグ		
商品関連	新価格	
オルソクリーン		
リテーナーケース大（10個入り）		
リテーナーケース小（10個入り）		

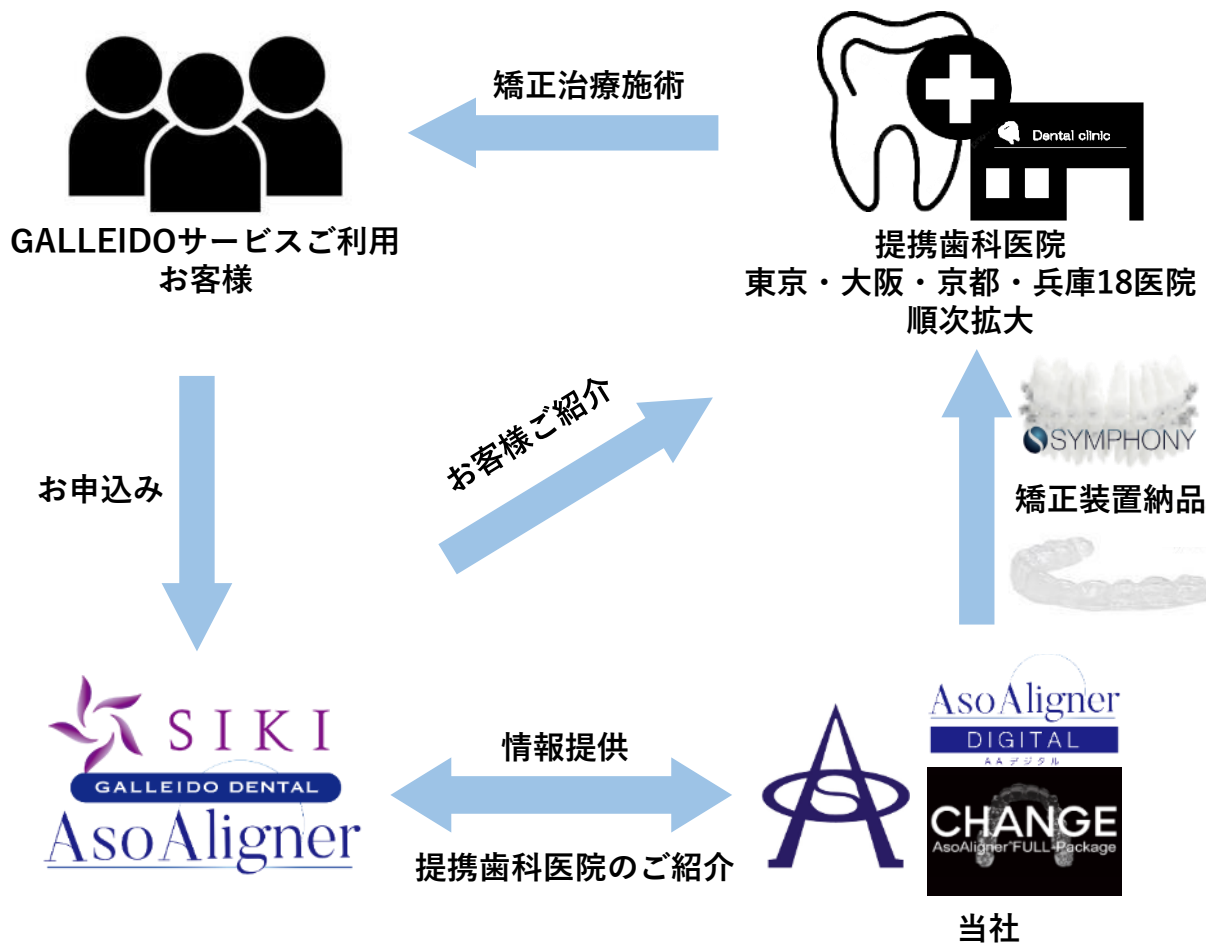
（上記全て税込価格）

ASO International, Inc.
 Orthodontic Laboratory Services
 株式会社 アソインターナショナル
 〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8 TEL: 03-3547-0471 FAX: 03-3547-0475 www.aso-intl.co.jp



アライナー（マウスピース）型矯正治療マッチングサービスを5月13日より開始
AsoAligner®及び定額型矯正装置CHANGEのリブランディング及びBtoCプロモーション
ECサイト運営のSIKI株式会社と業務提携

●サービススキーム



●GALLEIDO AsoAligner サービスURL <https://gd-aa.com>

●GALLEIDO（ガレイド）ブランドコンセプト



“感動体験を通じて人々を笑顔に”

毎日使う日用品だからこそ品質面、価格面、サービス面にこだわり続ける。
毎日使う日用品だからこそ、感動する体験を提供する。
そして、世界中の多くのお客様を笑顔にすることが使命。



●業務提携先の概要

名称：SIKI株式会社
事業内容：ライフスタイルECブランドGALLEIDOを通じた日用品の企画・販売
所在地：大阪府大阪市浪速区稲荷1-7-2
代表者：代表取締役 大林 浩



2024年5月3～6日、米国ルイジアナ州ニューオリンズで開催
年1回の総会は来場者1万人を超える大規模なカンファレンス、矯正歯科関連では世界最大
当社は今回を含め継続して出展、矯正装置製品のプロモーションと新商材の発掘を兼ねる



ASO INTERNATIONAL USA オフィスにて(KAI Orthodontics)

商談後の記念撮影

配当予想修正の背景

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応の要請の一環
 1株当たり年間配当金前期21円 今期予想22円（2024年2月13日開示）
 → 当期年間配当金を**35円**へ修正（**配当性向50%程度**）

株主還元要因

①持続性が見込める営業キャッシュフロー

矯正歯科業界は、国内外とも社会的な審美意識の高まり・未病改善取組拡大を背景として、中長期的に持続性のある成長が見込める。特に海外マーケットのポテンシャルは巨大

②IPO時（22年12月）の公募増資による株主資本の積み上がり

2022年6月期末株主資本1,565百万円 → 2023年6月期末同2,480百万円 増加額914百万円
 （うち資本金・資本準備金増加額681百万円、利益剰余金増加額233百万円）

2024年第3四半期末 **株主資本2,602百万円** 前期末比122百万円増加（概ね利益剰余金増加に起因）

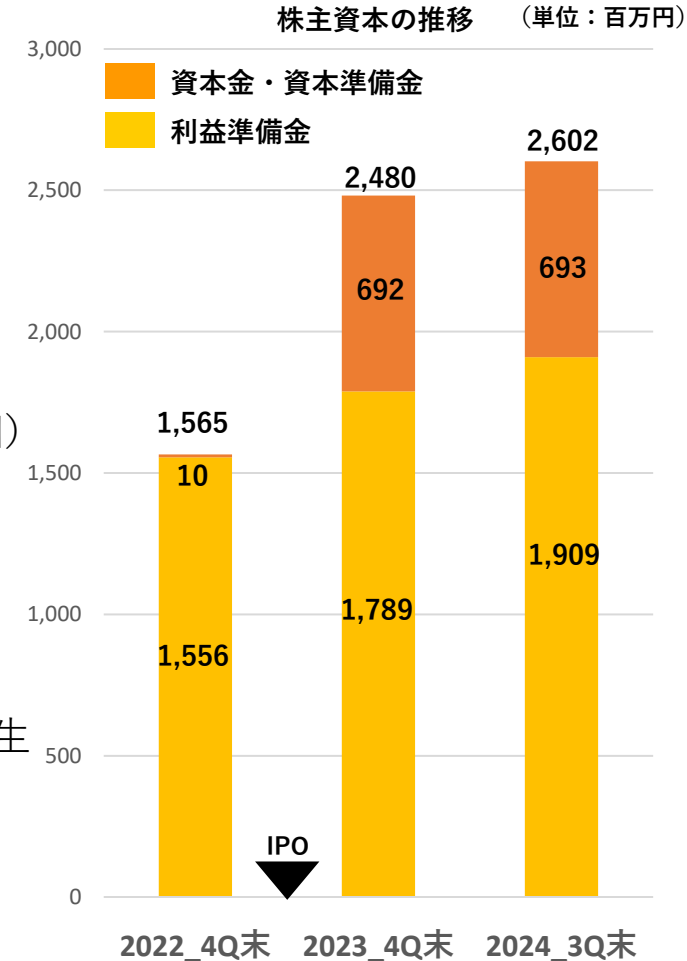
③株主の皆様へ安定した配当の実現と持続的な企業価値の向上を図る

内部留保要因

①設備投資・人財投資

- DX化に伴うデジタル製造設備や製造キャパシティの拡大のため、一定の設備投資は毎年発生
- 中長期的な企業価値向上に資する投資案件についても積極的に検討を継続
- 業容拡大・海外事業拡大のため、人財獲得・育成及び処遇・労務環境改善は継続的に実施

②健全な財務体質を今後も維持する方針



下半期の戦略サマリー（第2四半期決算説明資料掲載）

- ① デジタル矯正装置製品・保定装置の継続的販売に注力・価格改定を想定
- ② 矯正歯科業界全体のDX化推進（口腔内スキャナー、3Dプリンター、デジタルサービス等）
- ③ 海外市場売上拡大に向けて米国現地法人設立と製造キャパシティ拡大

（単位：百万円）

科目	2023年6月期 (2022年7月-2023年6月)		2024年6月期（予） (2023年7月-2024年6月)		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減比
売上高	3,190	100.0%	3,463	100.0%	+272	+8.6%
営業利益	460	14.4%	506	14.6%	+45	+10.2%
経常利益	433	13.6%	496	14.3%	+62	+14.4%
税引後当期純利益	338	10.6%	341	9.8%	+2	+1.0%
一株当たり配当金（円）	21.0 ^円		35.0 ^円		+14.0 ^円	
配当性向(%)※	27.8%		49.9%		-	
株主資本配当率(%)	5.1%		6.6%		-	

※発行済株式数は24年3月末数で算出



Appendix 1

主力商品



マウスピース型矯正装置の製造・販売に19年の実績、国産マウスピース矯正では圧倒的な症例数と信頼
メタルプリンター活用で従前の既製品対応から患者個々に最適な材質・形状の装置製造が可能

CHANGE

AsoAligner®FULL-Package

2023年5月新発売

アライナー（マウスピース型）全顎対応矯正装置
料金定額型フルパッケージ（デジタル製造）

全顎的な矯正治療に対応した治療システム
アソアライナーが新たに適応症例を拡大

- 全顎的な矯正治療に対応
- 定額料金のパッケージプラン
- アタッチメントの付与可能

AsoAligner
DIGITAL
AA デジタル

進化



SHU-lider®



3Dメタルプリント次世代型動的矯正装置（デジタル製造）

デジタル技術を応用し、革新的なデザインと機能を持つ
スライディング・メカニズムにより3Dメタルプリント
矯正装置

ドイツ・デュッセルドルフ大学大学院・歯学博士
山口修二先生とASOデジタル技術によるコラボ製品

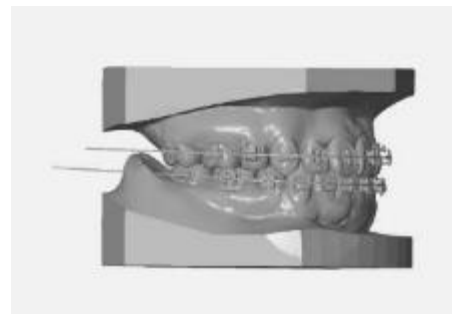


歯科医師の技術力による属人的問題を解消、デジタル製品は治療結果の標準化に寄与
顎骨や歯根などの情報を掛け合わせて提供できるため、より高度な診査・診断を歯科医師が行える



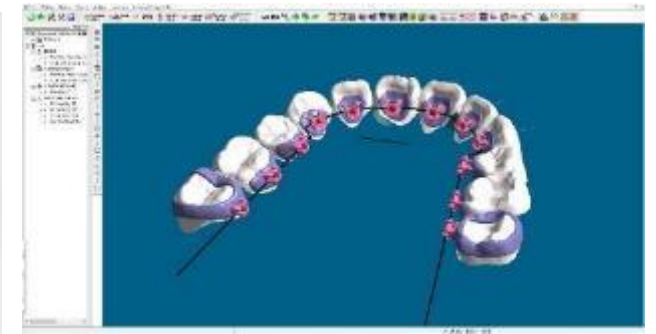
ラビアル矯正（唇側矯正）IDBS（デジタル製造）

CBCTデータ（DICOMファイル）とSTLデータを重ね合わせた歯根連動型セットアップによるラビアルIDBシステム
ブラケット（金具）ポジショニングの正確性を追求
ワイヤーベンディングマシンによる屈曲したワイヤの提供



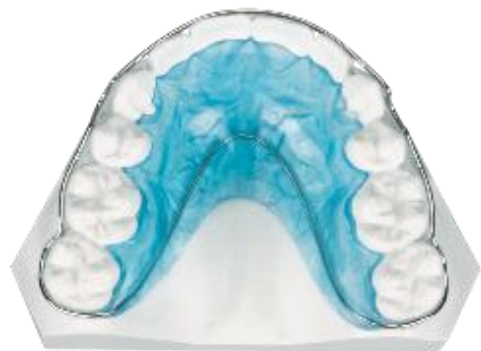
リンガル矯正（舌側矯正）IDBS（デジタル製造）

本格的デジタル矯正技工物の元祖、治療効率の精度向上
専用高機能ソフトウェアを使用したリンガルIDBシステム
ブラケット（金具）ポジショニングの正確性を追求
ワイヤーベンディングマシンによる屈曲したワイヤの提供



リテーナー（保定装置）

動的矯正終了後の後戻りを防ぐ為に使用する保定装置です。矯正を行った部位や歯列に応じて様々な形態のものがあります。ホーラータイプ、ラップアラウンドタイプなどの床タイプのものやマウスピース状のもの、口腔内で固定するFixedなどの装置があります。



ラップアラウンドリテーナー

1. ベックタイプリテーナー、サーカムフィレンシャルリテーナーとも呼ばれ、動的矯正治療終了後の保定装置として使用する
2. 多数歯の動的矯正治療終了後に用いることが多く、主に永久歯列に使用する



クリアボウリテーナー

動的矯正治療終了後の保定装置として使用する



インビジブルリテーナー

1. 動的矯正治療終了後の保定装置として使用する
2. 床タイプに代表される長期間使用可能なリテーナーに移行する前に短期間（6～10カ月）使用する
3. 抜歯した際の保隙、抜歯溝への舌癖防止、食事時の抜歯溝への食渣侵入防止、食事時の抜歯溝への食渣侵入防止にも対応可能である



スリムリテーナー

1. 動的矯正治療終了後の保定装置として使用する
2. 口蓋側の前歯部レジン辺縁を舌で触ることにより舌の訓練が行える



フィックスリテーナー

1. 動的矯正治療終了後の保定（主に前歯部）に用いる
2. 前歯部に人工歯を入れる際の固定源として使用する



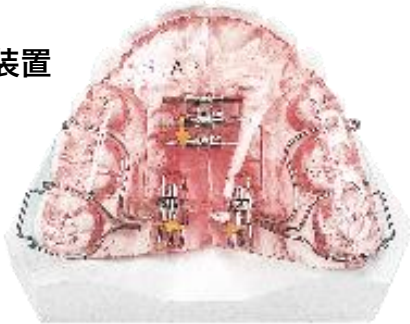
メタルリテーナー

1. 動的矯正治療終了後の保定装置として使用する。特に口唇口蓋裂の症例には適している

アプライアンス（機械的・機能的矯正装置）

主に患者さんの口腔周囲筋や咬む力などの筋肉の力を利用した可撤式の機能的矯正装置です。不正咬合の改善や顎の骨の成長促進をするために用いられ、咬合状態や治療目的に応じて様々な装置が考案されています。代表的なものにアクチバツール、バイオネーター、ビムラー、フレンケルなどがあります。

機械的矯正装置



サジタルアプライアンス(上顎)

骨格性に劣成長の状態にある上顎骨複合体に、整形的な力を加えて側方拡大と前下方への成長の促進を図るために用いる



三方向拡大床（3ウェイエクспанション）

- 1.主に前方歯列の唇側方向への拡大を目的として使われる（スクリューの拡大量は、平均的に3～4 mm程度、唇側拡大、側方拡大することができる）
- 2.臼歯部の側方拡大も可能



ペンデュラムアプライアンス

- 1.上顎大白歯の遠心移動に用いられる
- 2.側方拡大（スクリューを使用した場合）することも可能である

機能的矯正装置



ファンクショナルアプライアンス

EOA(エラスティックオープンアクチベータ)

- 1.アングルII・III級の改善に使用する（どちらの歯列にも使用できるがその場合上下の設計が逆になる）
- 2.口唇圧を取り除く
- 3.前歯の軽度な叢生を改善する
- 4.歯列の拡大をする



ファンクショナルアプライアンス

Frankel IV(フレンケルIV)

- 1.機能的矯正装置の一種で、混合歯列期初期の動的矯正治療に使用する
- 2.開咬の症例に適応し、基本的には就寝時に使用する



ファンクショナルアプライアンス

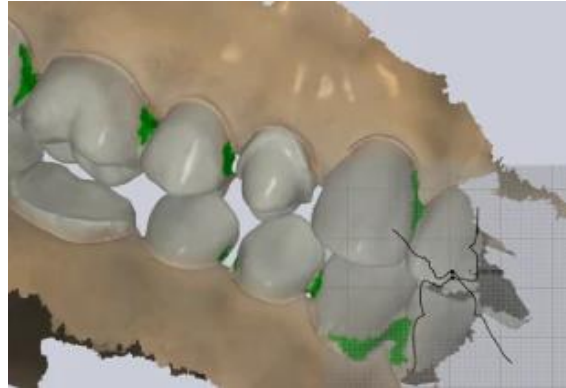
ハーブストアプライアンス

アングルII級の改善に用いる

口腔内スキャナー「WE SCAN」



7.28μmの高精度データ



クリアランスの分析

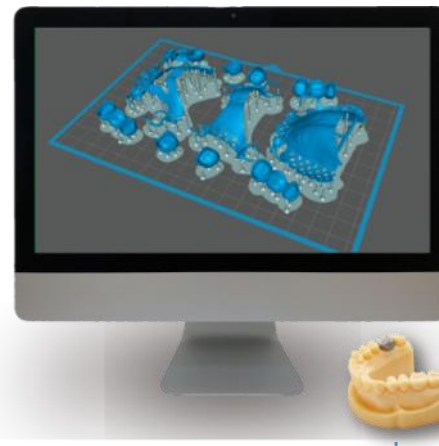


マージンラインツール



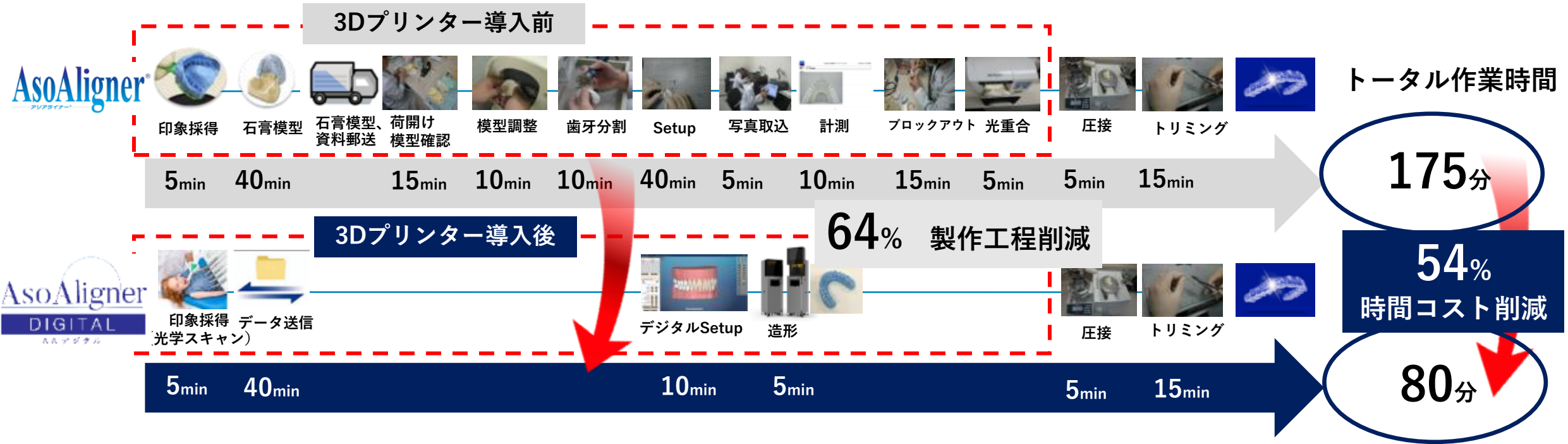
矯正シミュレーション

3Dプリンター



矯正装置製造デジタル化の効果

3Dプリンター導入前と導入後の工程の比較



セットアップのデジタル化

アナログ工程

- ✓ 歯形作成における石膏固化に相当の時間
- ✓ 石膏歯形は手作業により個々の歯形を切断分離
- ✓ 手作業により歯形の並び替え



1 症例 120分

従来比効率
約**130%**改善

デジタル



1 症例 90分

デジタル工程

- ✓ スキャンデータ(口腔内、模型)をCADへ取り込む
- ✓ CAD上で歯形(歯列)の並び替え
- ✓ CADデータを抽出し3Dプリンターで造形



Appendix2

会社概要



会社名	株式会社アソインターナショナル 英名：ASO INTERNATIONAL, INC.		
代表者	代表取締役社長 阿曾 敏正 (あそ としまさ)		
創業・設立	創業1982年4月 法人設立1988年5月		
本社所在地	〒104-0061 東京都中央区銀座2丁目11番8号		
URL	https://aso-inter.co.jp/		
国内支店	新潟オフィス 大阪オフィス 名古屋オフィス		
子会社	フォレストudent・ジャパン株式会社 ASO INTERNATIONAL USA (米国現地法人) ASO INTERNATIONAL HAWAII (米国現地法人) ASO INTERNATINAL MANILA (比国現地法人)		
上場市場	東京証券取引所スタンダード市場 【証券コード：9340】		
資本金	351百万円		
事業内容	歯科技工所の経営並びに歯科材料の輸入及び販売等		
役員	代表取締役	阿曾 敏正	取締役 (社外) 松尾 一彦
	取締役	内山 淳	監査役 (常勤) 永瀬 巖
	取締役	桑原 勉	監査役 (社外) 静 健太郎
	取締役 (社外)	高橋 祐介	監査役 (社外) 奥村 祥樹
連結従業員数	422名 (正社員・派遣社員パートタイマー含む、役員除く)		
歯科技工士及びパートナー数	歯科技工士数	50名	外部パートナー
			55社
連結総資産 / 純資産	連結総資産	2,958百万円	連結純資産
			2,588百万円

経営方針

「高品質」「高付加価値」を追及し、全従業員の人格・品格形成に努め、社会に役立つ企業として持続成長する。

審美・未病に資し、人々が健康で明るく、**QOL**(Quality of Life)の向上に貢献する。



経営理念

Professionalな最新技術を
世界から日本へ、
日本から世界へ

ビジョン

売上高海外比率50%超の**シン**・歯科矯正
グローバル企業になる

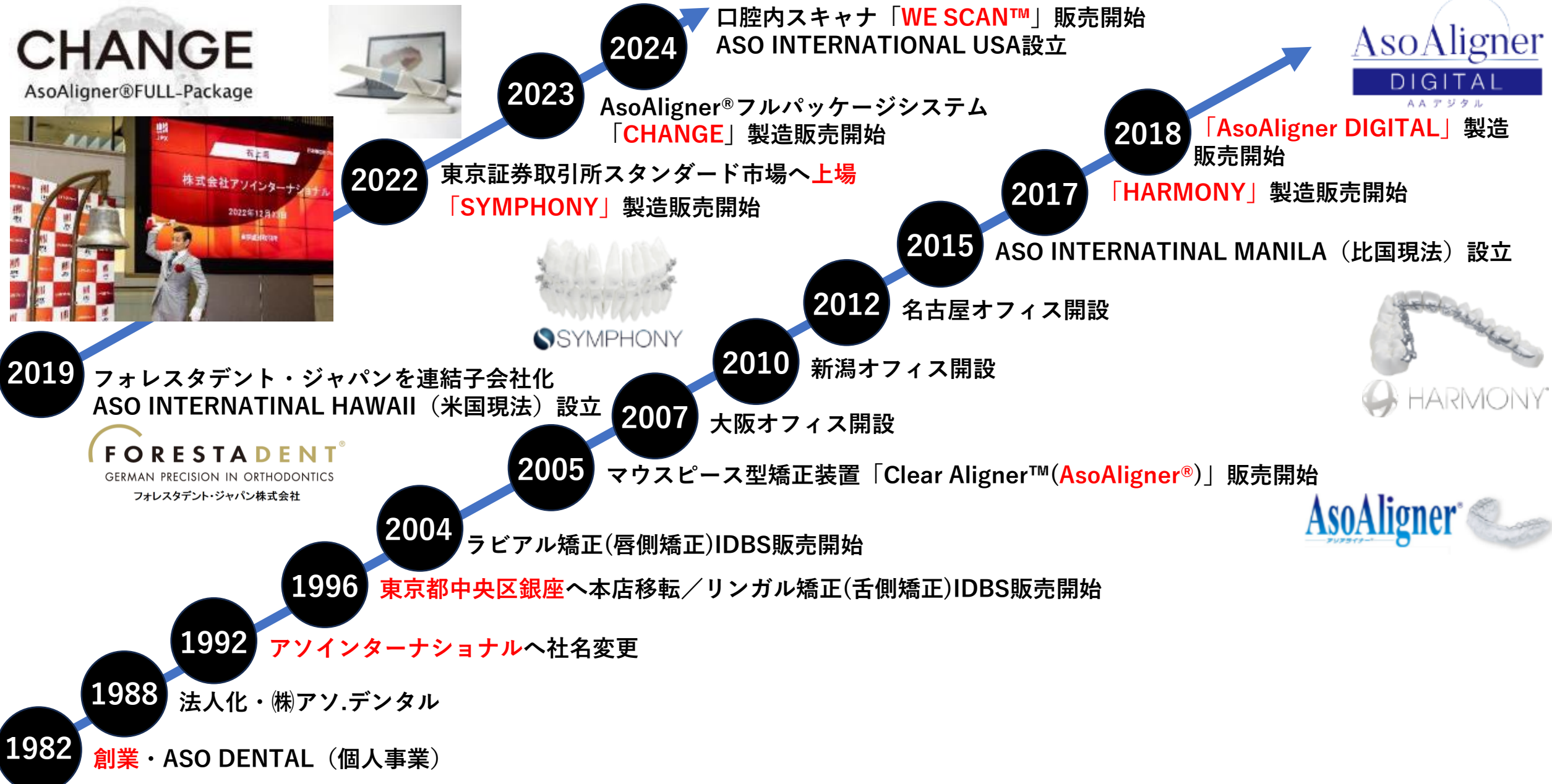
ミッション

世界規模で歯科矯正業界に貢献する企業になる

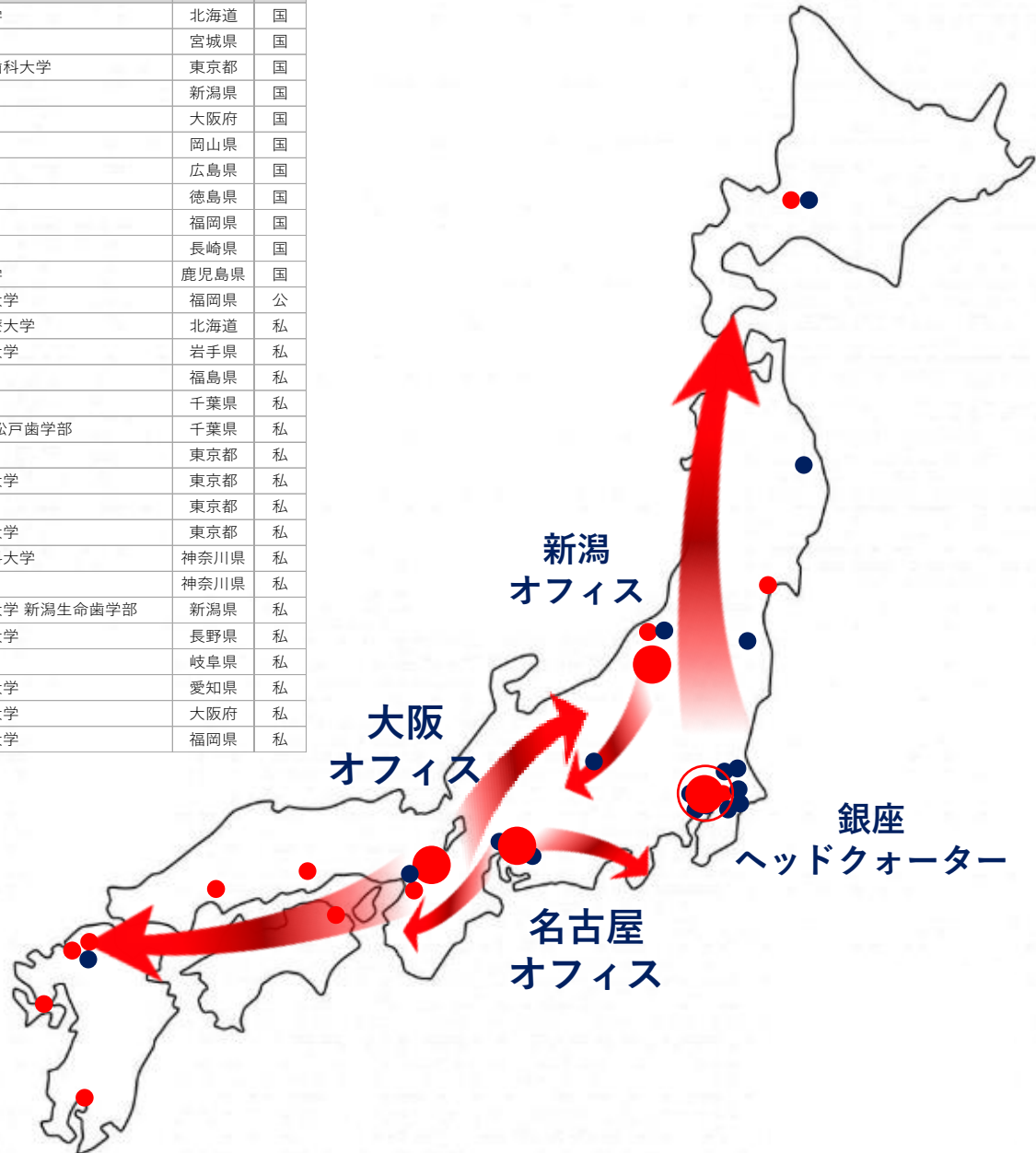


- 9 3Dプリントセンター
CAD/CAMセンター
- 7 ワールドデジタルセンター
ハーモニー・IDBセンター
- 6 リングルテックセンター
- 4 セミナー事業部
- 3 テクニカルセンター
- 2 Study Modelセンター

アソインターナショナル創業来の歩み (1982~2024年)

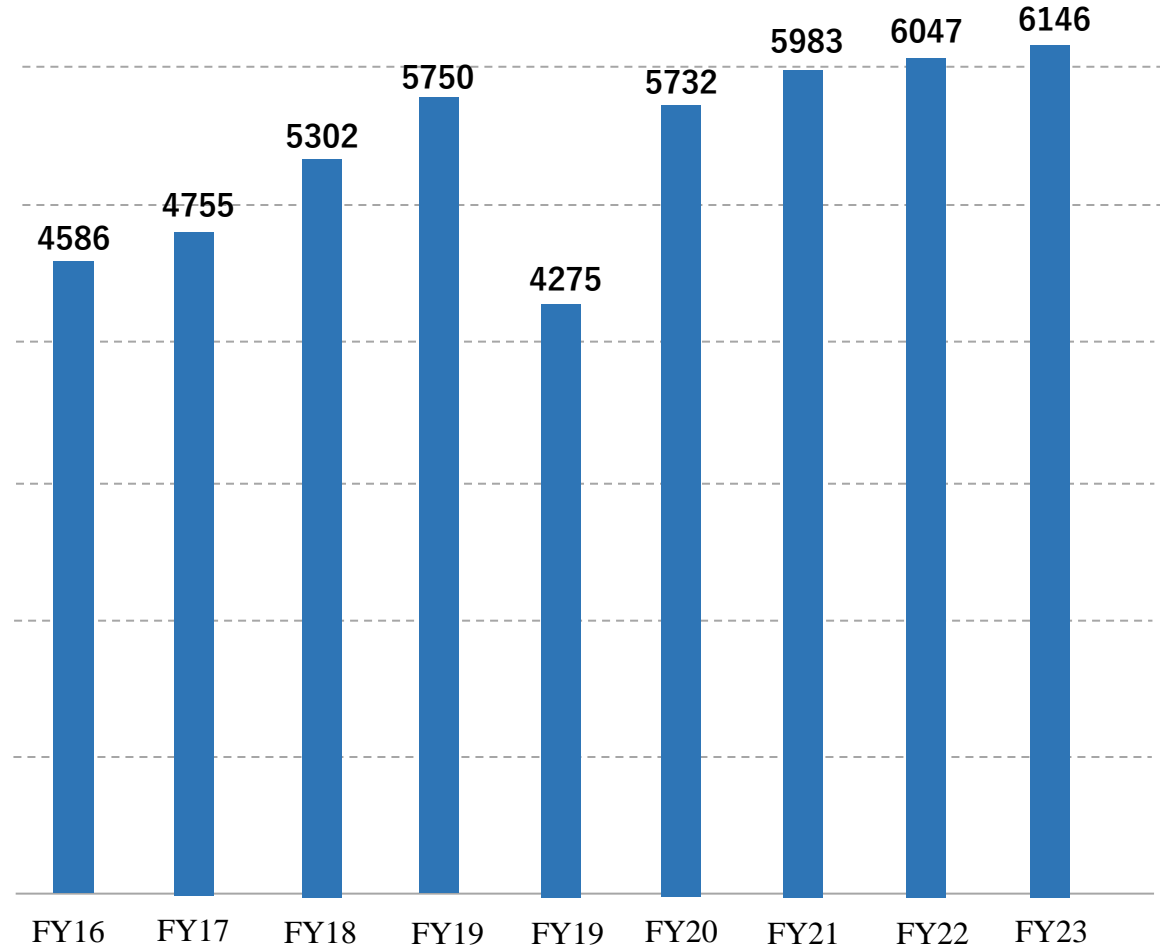


#	大学名	都道府県	運営
1	北海道大学	北海道	国
2	東北大学	宮城県	国
3	東京医科歯科大学	東京都	国
4	新潟大学	新潟県	国
5	大阪大学	大阪府	国
6	岡山大学	岡山県	国
7	広島大学	広島県	国
8	徳島大学	徳島県	国
9	九州大学	福岡県	国
10	長崎大学	長崎県	国
11	鹿児島大学	鹿児島県	国
12	九州歯科大学	福岡県	公
13	北海道医療大学	北海道	私
14	岩手医科大学	岩手県	私
15	奥羽大学	福島県	私
16	明海大学	千葉県	私
17	日本大学 松戸歯学部	千葉県	私
18	昭和大学	東京都	私
19	東京歯科大学	東京都	私
20	日本大学	東京都	私
21	日本歯科大学	東京都	私
22	神奈川歯科大学	神奈川県	私
23	鶴見大学	神奈川県	私
24	日本歯科大学 新潟生命歯学部	新潟県	私
25	松本歯科大学	長野県	私
26	朝日大学	岐阜県	私
27	愛知学院大学	愛知県	私
28	大阪歯科大学	大阪府	私
29	福岡歯科大学	福岡県	私



取引歯科医療機関数の推移

(院数)



(変則4か月)

(各期において、一回以上取引があった歯科医院数)



Appendix3

矯正歯科と市場規模



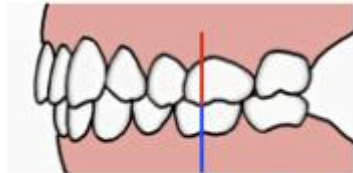
なぜ“矯正”が必要なのか？

矯正歯科の目的は、歯並び、咬み合わせの改善、さらに良好な咬合（こうごう＝かみ合わせ）を維持することで、患者さんの **QOL（Quality Of Life）の向上** を目指すことにあります。

- ✓ 食べ物がきちんと噛めない
- ✓ 肩こりや頭痛がする
- ✓ 虫歯や歯槽膿漏の原因となる
- ✓ 発音が正しくできない
- ✓ 非社交性の原因となる
- ✓ 審美性の追求
- ✓ 歯並びが悪い
- ✓ 口唇の突出感 等々

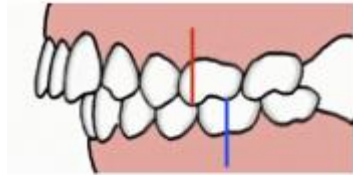
アングルの不正咬合分類

I級 (Class I)



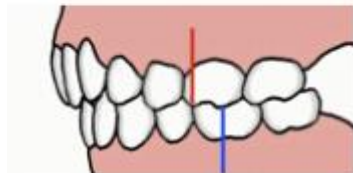
正常
八重歯、乱ぐい歯

II級1類 (Class II Div. 1)



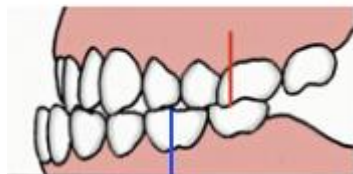
下顎の第1大臼歯が上顎の第1大臼歯に対して遠心にある
I類：上顎前歯の前突を伴う
出っ歯

II級2類 (Class II Div. 2)

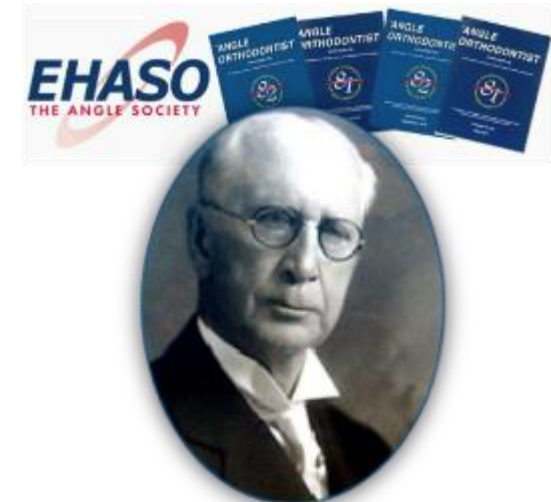


下顎の第1大臼歯が上顎の第1大臼歯に対して遠心にある
II類：上顎前歯の後退を伴う
オーバーバイト

III級 (Class III)



下顎の第1大臼歯が上顎の第1大臼歯に対して近心にある
受け口



エドワード・H・アングル (1855年-1930年)

アメリカ・ペンシルバニア州生まれ、20世紀で最も影響のある歯科矯正医であり、矯正歯科分野の発展に大きく貢献したことで知られる。

1876年にペンシルベニア歯科大学を卒業、欧州へ渡り、矯正歯科の技術と理論について学ぶ。帰国後、歯と顎の位置が正常でない状態を指す「不正咬合」という用語を世の中に広く知れ渡らせる。「矯正の父」とも呼ばれる。

矯正歯科
(動的治療期)

マルチブラケット矯正装置



ブラケット：歯の表面につける装置
(金属製、セラミック製等)

ラビアルIDBS矯正(唇側矯正)



リンガルIDBS矯正(舌側矯正)



IDBS：インダイレクトボンディングシステム

アライナー(マウスピース)型
矯正装置



機械的矯正装置 (バンド等の力を利用)

機能的矯正装置 (患者の咬む力を利用)



Metal Print HYRAX



矯正歯科
(終動保定期)

リテーナー (保定装置)



矯正治療プロセス

No.	用語	用語の定義
1	歯科技工所	歯科医師または歯科技工士が業として歯科技工を行う場所をいう。ただし、病院又は診療所内の場所であって、当該病院又は診療所において診療中の患者以外の者のための歯科技工が行われないものを除く。
2	歯科技工物	特定人に対する歯科医療の用に供する補綴物、充填物又は矯正装置を製造し、修理または加工したものをいう。
3	補綴（ほてつ）物	虫歯などの治療の後に歯にかぶせる物をいう。補綴物には金属やプラスチック、CAD/CAM製クラウン等の種類がある。また保険適用のものもあれば、保険適用外の補綴物も存在する。
4	矯正用の歯科技工物	歯や顎（あご）の位置を移動させるために使用する技工物の総称。歯列矯正治療が終了した後や矯正治療中に例外的に不動とする歯に対応する保定の役割を持っているものも矯正用の技工物として定義されることから、形状は様々である。保険適用のものもあれば、保険適用外のものも存在する。
5	歯科大学及び附属病院	歯科大学とは、歯学部が設置されている大学をいう。歯学部附属病院が設置されている国公立大学と私立大学は日本国内に計29校あり、当社ではすべての29校に販売実績がある。
6	GP (General Practitioner) (ジー・ピー)	一般歯科医のことをいい、虫歯や歯周病の治療、矯正など歯科治療全般を広く行う歯科医師のこと。専門医（歯周病専門医や矯正専門医）等特定の特定の治療域を専門的に行う歯科医師と区別するいい方。
7	歯科技工士	厚生労働大臣の免許を受けて、歯科技工を業とする者をいう。
8	矯正力	不正な位置にある歯や顎を適正な位置に移動させるために加える力をいう。
9	歯科技工士法	歯科技工士資格を定めるとともに、歯科技工の業務が適正に運用されるように規律し、もって歯科医療の普及及び向上に寄与することを目的とする法。
10	歯科技工指示書	歯科技工物の発注時に、歯科医療機関が内容記載する発注書をいう。歯科技工物の設計指示の詳細が明記されている。
11	ブラケット	基本的には金属製だが、セラミックやプラスチック製の目立たない製品もあり、最も一般的で自由度の高い矯正器具をいう。
12	ワイヤー	矯正治療専用のワイヤーを指し、金属製が用いられる。歯にワイヤーの矯正力を伝えるために、ワイヤーと歯の間にはブラケットの介在が必要。
13	コア	ブラケットを適正な位置に装着するための治具。
14	アライナー	患者さんの口腔内石膏模型や口腔内の3Dスキャニングデータを用いて作成した透明のマウスピース状の装置のこと。アライナーを用いた矯正歯科治療とは、そのアライナーを決められた順番通りに装着し、歯を動かしていく治療法のこと。
15	リテーナー（保定装置）	矯正治療直後の不安定な歯列を固定し、保持するための装置。歯を移動させるほどの強い力は発生せず、上下の歯が勝手に後戻りしない程度の保持力があり、マウスピース型・プレート型・ワイヤー型の3タイプが存在する。当社では100種類以上の患者にあったリテーナーを製造している。

①22年度のトータルマーケットは114.2億円 (=矯正装置部材)

20・21年度は“マスク社会”となり、歯列矯正をスタートする好機として市場拡大を後押しした。22年度もその傾向は残ったが、それよりも社会情勢を原因とした供給不足や物価上昇の気配から、買いためとして需要の先食いも発生しており、22年度の増加に繋がったと推察される。なおコロナ禍以前より矯正患者数は増加傾向であり、主にアライナー矯正がニーズを掘り起こしている状況に変化はない。アライナーを希望する患者が歯科医の診断によってブラケット治療をスタートするケースもあるとみられ、アライナーがブラケット市場を侵食するばかりではなく、両者の相乗効果によって矯正市場全体が伸びていると推察される。患者が審美性の高さを望む傾向も変わりはなく単価は上昇している模様。23年度はいよいよ“マスク社会”の終焉が見え始め、前年の需要の先食いも影響し、減少に転じる見通しとなっている。

表 2-23-1 矯正装置マーケットサイズの内訳

単位：百万円、%

	20年度	21年度	22年度			23年度予測			
			伸び率	構成比	伸び率	構成比	伸び率		
ブラケット	4,071	4,350	6.9	4,636	40.6	6.6	4,526	40.9	-2.4
チューブ/バンド類	1,408	1,775	26.1	1,883	16.5	6.1	1,825	16.5	-3.1
ワイヤー	1,488	1,666	12.0	1,860	16.3	11.6	1,794	16.2	-3.5
その他(接着材ほか)	1,514	1,592	5.2	1,573	13.8	-1.2	1,519	13.7	-3.4
材料・消耗品 小計	8,481	9,383	10.6	9,952	87.2	6.1	9,664	87.4	-2.9
器械・器具	815	840	3.1	842	7.4	0.2	783	7.1	-7.0
歯科矯正用アンカースクリュー	437	531	21.5	623	5.5	17.3	615	5.6	-1.3
合計	9,733	10,754	10.5	11,417	100.0	6.2	11,062	100.0	-3.1

(※当社推定)

石膏等関連商品及びアライナー（マウスピース）矯正、カスタムメイドブラケット矯正装置等含まず

②「カスタムメイド矯正装置」 (=当社主力商品)

患者ごとにオーダーメイドしたアライナーやリングブラケットなどを用いる矯正治療装置のことをいう。(中略) また海外加工である場合は、製品が医療用品や技工物ではなく「雑品」として分類されているなど、医療・歯科治療として線引きやルールがあいまいなまま普及してしまっているのが実情である。

アライナー矯正の主な製品としては、インビザラインジャパンの「インビザライン」、矯正専門の技工所であるアソインターナショナルの「アソアライナー」のシェアが高く、(中略)

患者数はさらに増加が見込まれる模様。デジタルソリューションとの親和性も高く、まだまだ発展できる余地があるとみられており今後の動向に注目が集まっている。

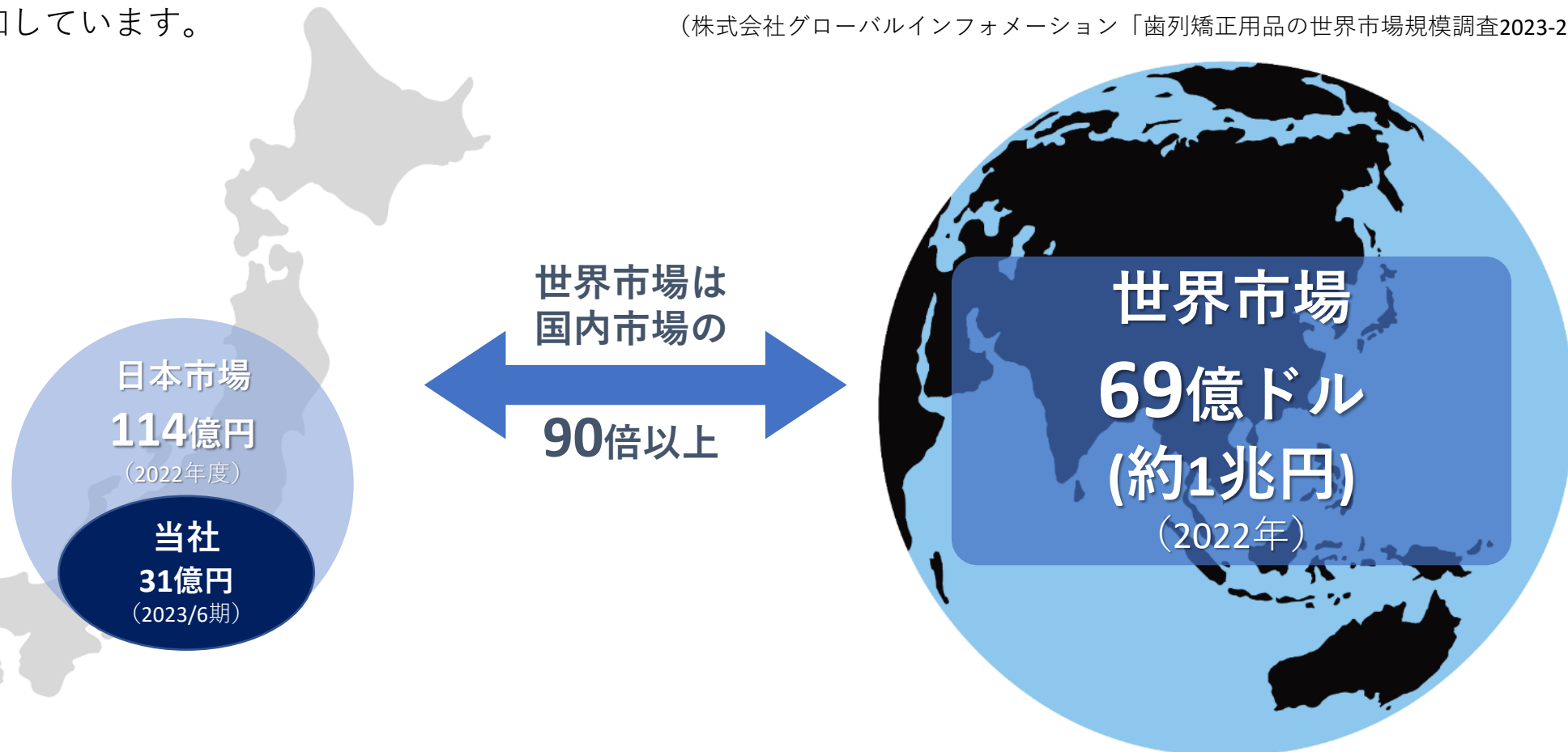
国内歯科矯正装置マーケットまとめ

- ①ブラケット・ワイヤー等の矯正装置部材マーケットは114億円
(=アソインターナショナルのマーケットではない)
アライナー（マウスピース）矯正がニーズを掘り起こし、ブラケット矯正も増加、単価も上昇しているが、特需後の反動を懸念
- ②カスタムメイド矯正装置（当社主力商品）
患者毎にオーダーメイドしたアライナー型やブラケット型矯正装置で、デジタルとの親和性から今後成長の余地。

歯列矯正用品の世界市場は、**2022年には約69億米ドル**と評価され、予測期間2023-2030年には7.9%以上の健全な成長率で成長すると予測されています。

歯列矯正用品は、歯科矯正医が歯や顔の不整を診断、予防、治療するために使用する道具や材料です。これらの用品は、歯の矯正、噛み合わせの矯正、口腔全体の健康改善を目的とした歯列矯正処置に不可欠です。歯列矯正用品市場は、可処分所得の増加や口腔の健康障害に悩む患者の増加などの要因により拡大しています。その結果、**2023-2030年の予測期間中**、歯列矯正用品の需要は国際市場で徐々に増加しています。

(株式会社グローバルインフォメーション「歯列矯正用品の世界市場規模調査2023-2030年」より引用)



日本市場：株式会社R&D「歯科機器・用品年間2024年版」より引用

株式会社グローバルインフォメーション「歯列矯正用品の世界市場規模調査」(2023年12月20日)より引用

米国の歯科矯正市場は、2022年から2029年の予測期間において**CAGR 14.3%**で、2022年の37億6000万ドルから2029年までに**96億ドル**に成長すると予測されており、予測期間中に14.3%のCAGRを示します。新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的なパンデミックは前例のない驚異的なもので、米国全土でパンデミック前のレベルと比較して需要が予想を下回っています。

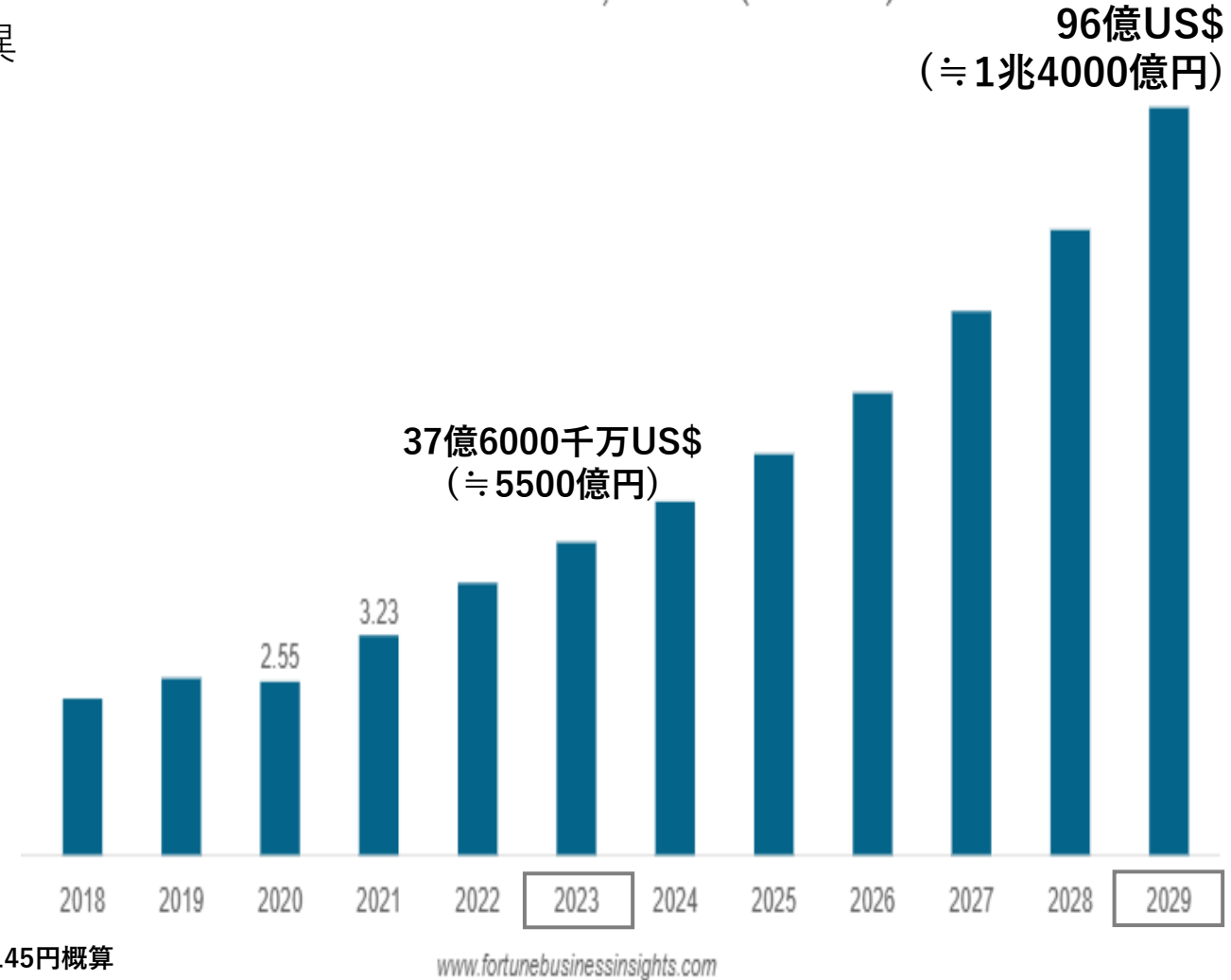
私たちの分析によると、2020年の米国市場は2019年と比較して**26.4%**の上昇を認めました。(中略)初期の治療は10代の年齢層が中心でしたが、近年では透明なアライナーや舌側矯正装置といった目に見えない装置の開発や審美歯科への需要の高まりにより(中略)

こうした傾向は技術の進歩によって更に促進され、治療結果の向上や、そのような治療に対する柔軟な支払プランが利用可能になり(中略)歯科疾患に対する認識の欠如や歯科矯正治療が高額である等マイナス要因にもかかわらず、いくつかの著名な歯科企業が研究開発に取り組み、予測期間中の米国の歯科矯正市場の成長を可能にしました。

文・グラフとも<https://www.fortunebusinessinsights.com/jp>より引用、日本円換算は1\$=145円概算

米国矯正市場の規模と今後の成長予測

U.S. Orthodontics Market Size, 2018-2029 (USD Billion)



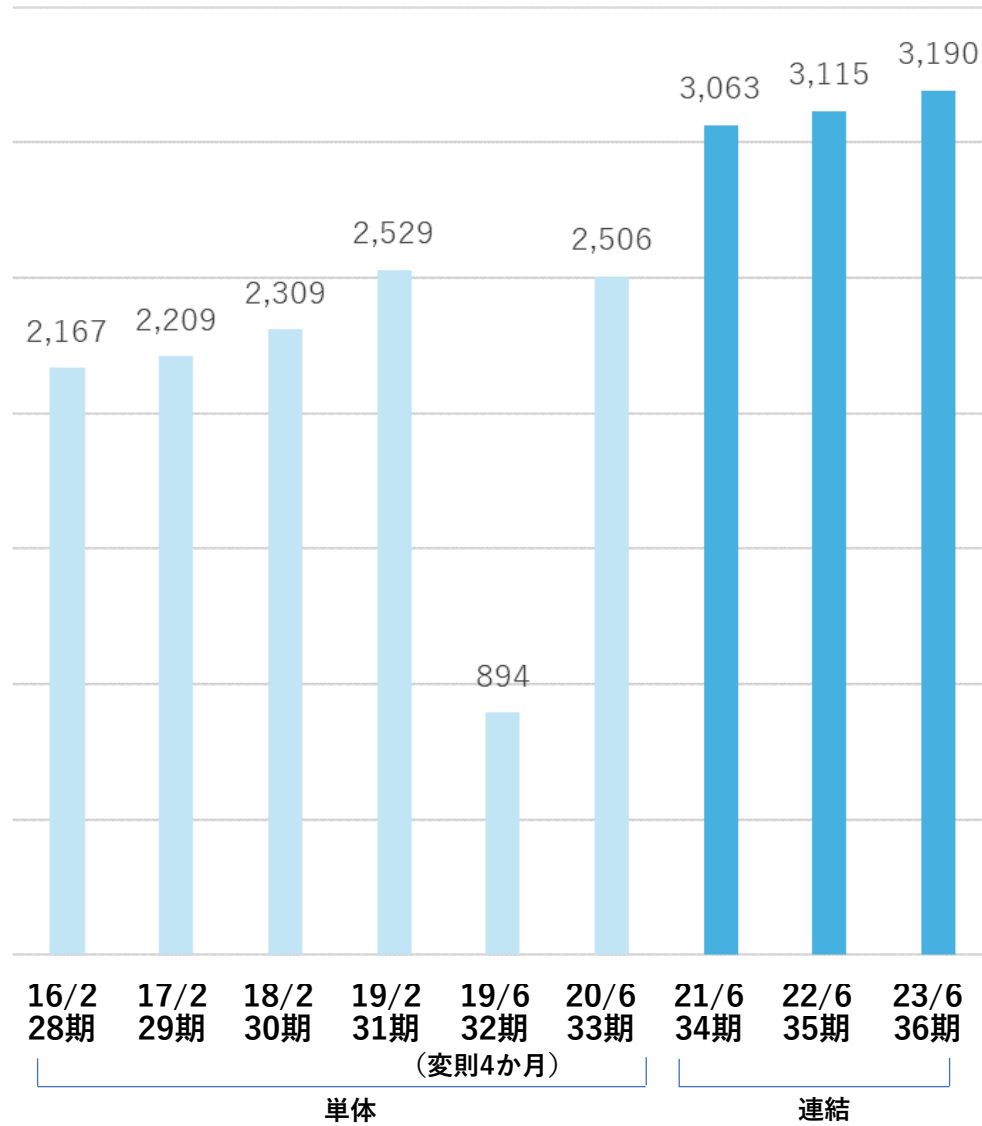


Appendix4

經營指標等

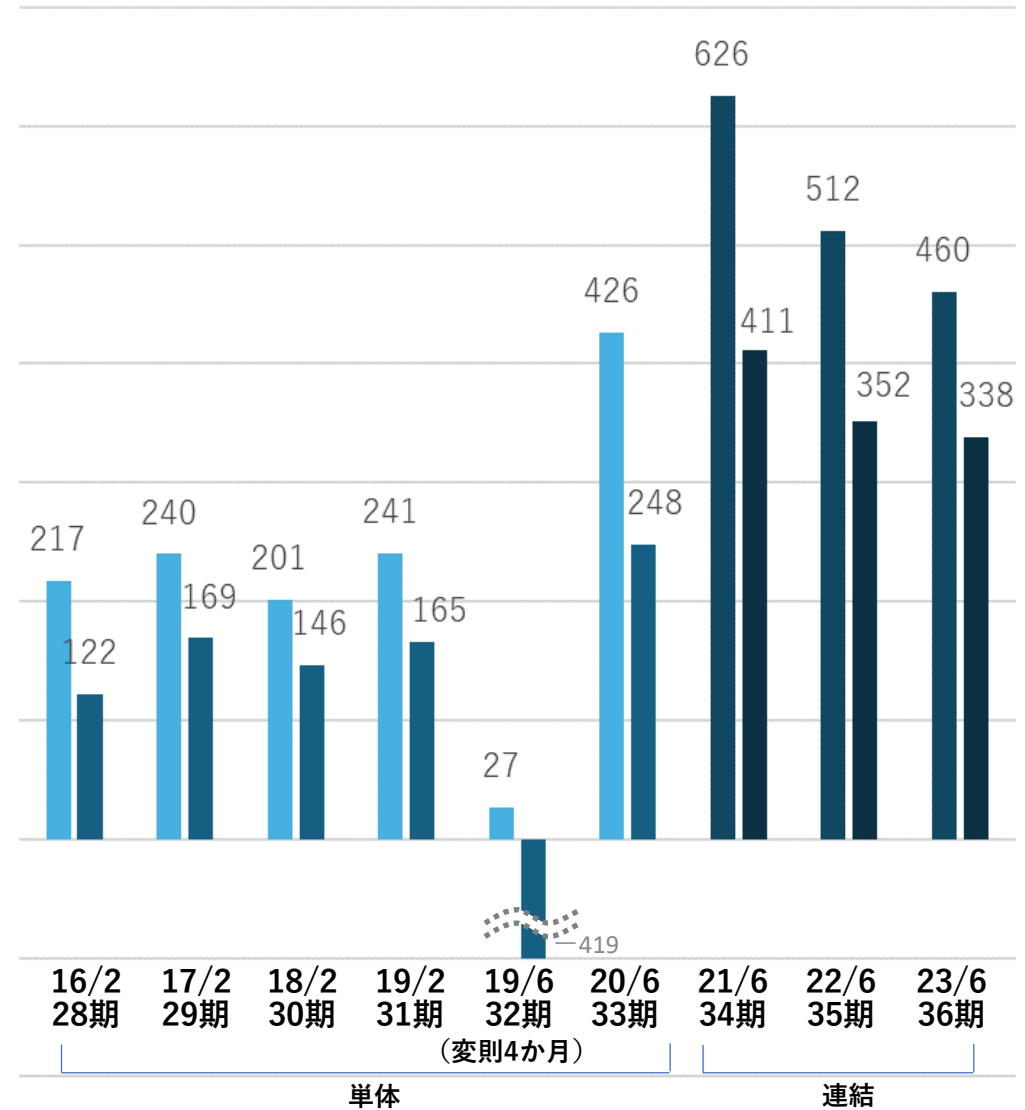


売上高

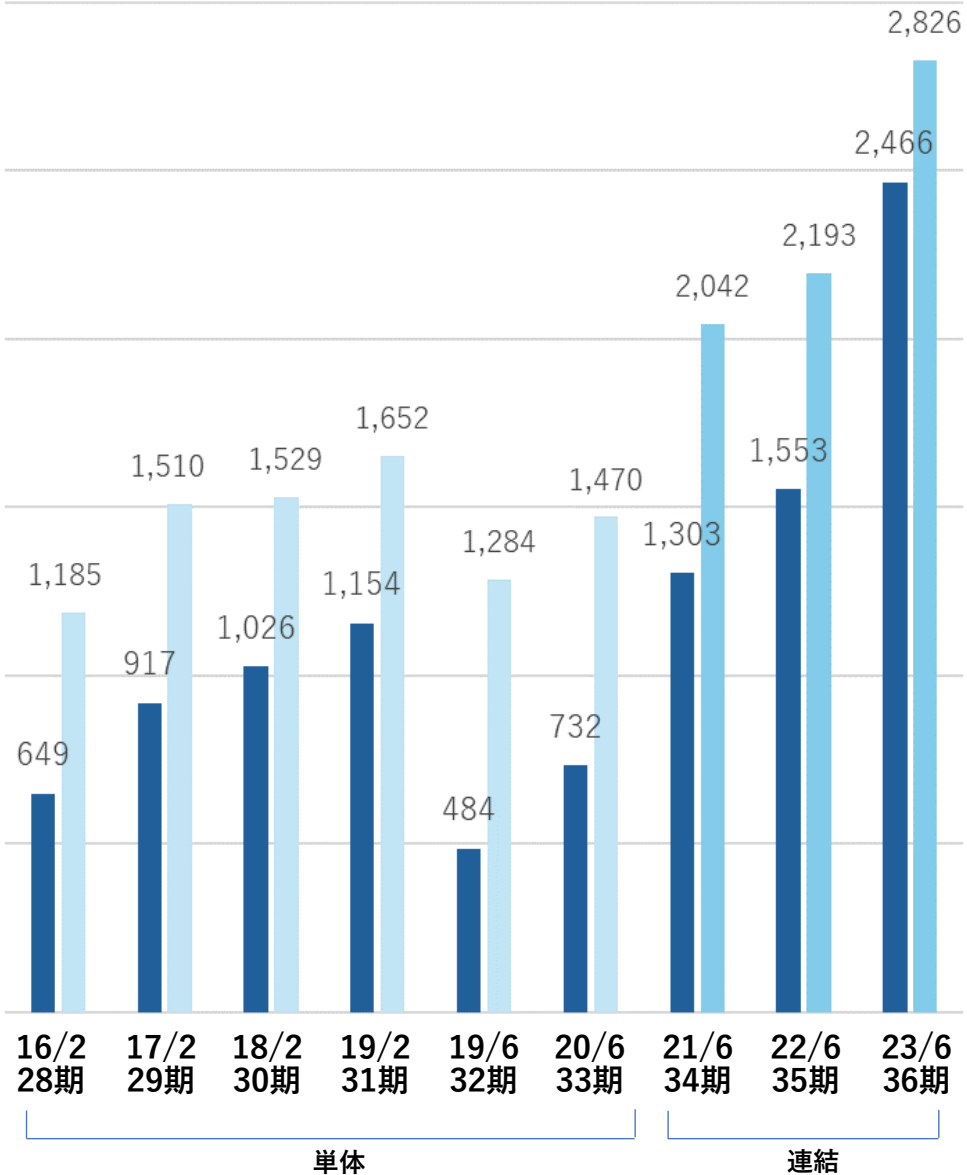


営業利益・当期純利益

(単位：百万円)

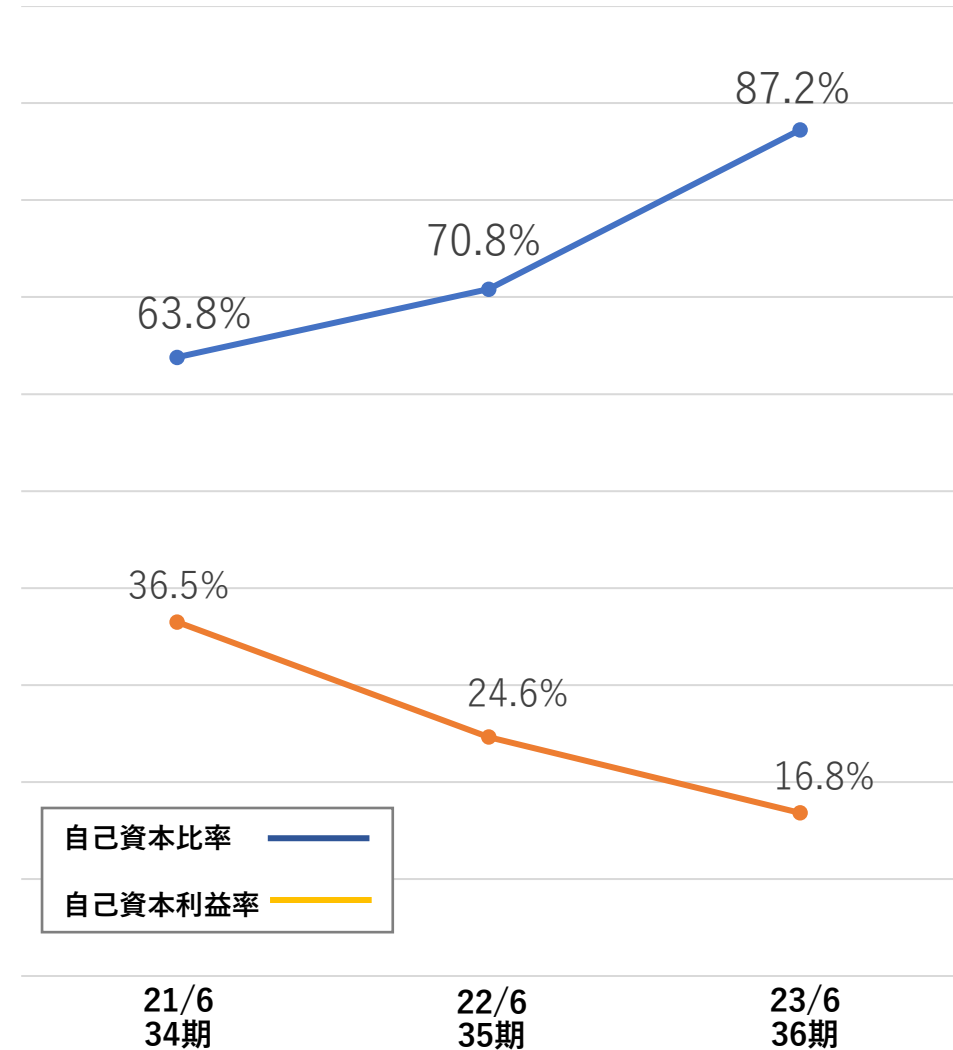


総資産・純資産



自己資本比率・自己資本利益率 (連結)

(単位：百万円)



期 西暦期 和暦期	単体 第30期 2018/02 H30/2	単体 第31期 2019/02 H31/2	単体/変則 第32期 2019/06 R1/6(4か月)	単体 第33期 2020/06 R2/6	連結 第34期 2021/06 R3/6	連結 第35期 2022/06 R4/6	連結 第36期 2023/06 R5/6
売上高 (千円)	2,309,349	2,529,223	893,806	2,506,466	3,062,763	3,115,106	3,190,044
営業利益 (千円)	201,375	240,790	26,554	426,217	625,797	512,174	460,250
経常利益 (千円)	217,173	248,385	45,210	386,916	628,103	518,387	433,892
当期純利益 (千円)	146,423	165,469	△ 418,618	248,172	411,155	351,840	338,159
包括利益 (千円)	-	-	-	-	409,644	352,808	335,958
純資産 (千円)	1,025,780	1,153,552	484,485	731,883	1,302,910	1,552,931	2,465,578
総資産 (千円)	1,528,809	1,652,329	1,284,149	1,470,412	2,042,322	2,193,097	2,826,293
1株純資産 (円)	25,644,500	28,838,800	12,112,125	18,297.08	32,572.75	38,823.28	507.78
1株当期純利益 (円)	3,660,575	4,136,725	△ 10,465,450	6,204.30	10,278.88	8,796.00	76.11
自己資本比率 (%)	67.1%	69.8%	37.7%	49.8%	63.8%	70.8%	87.2%
自己資本利益率 (%)	15.1%	15.2%	-51.1%	40.8%	36.5%	24.6%	16.8%
総資産利益率 (%)	9.6%	10.4%	-32.6%	18.0%	23.3%	16.6%	13.5%
営業CF (千円)	-	-	-	-	385,089	246,654	245,716
投資CF (千円)	-	-	-	-	△ 49,738	△ 67,712	△ 90,612
財務CF (千円)	-	-	-	-	△ 65,208	△ 104,668	276,624
期末現金残 (千円)	-	-	-	-	1,209,686	1,292,077	1,727,892
従業員数 (人)	40	43	61	58	236	257	267
発行済株式数 (株)	40	40	40	40,000	40,000	40,000	4,855,600
1株配当金 (円)	942,448	942,448	314,149	1,365	2,570	2,625	21
配当性向 (%)	25.7%	22.8%	-	22.0%	25.0%	29.8%	27.8%
株主資本配当率 (%)	3.9%	3.5%	1.5%	9.0%	10.1%	7.4%	5.1%

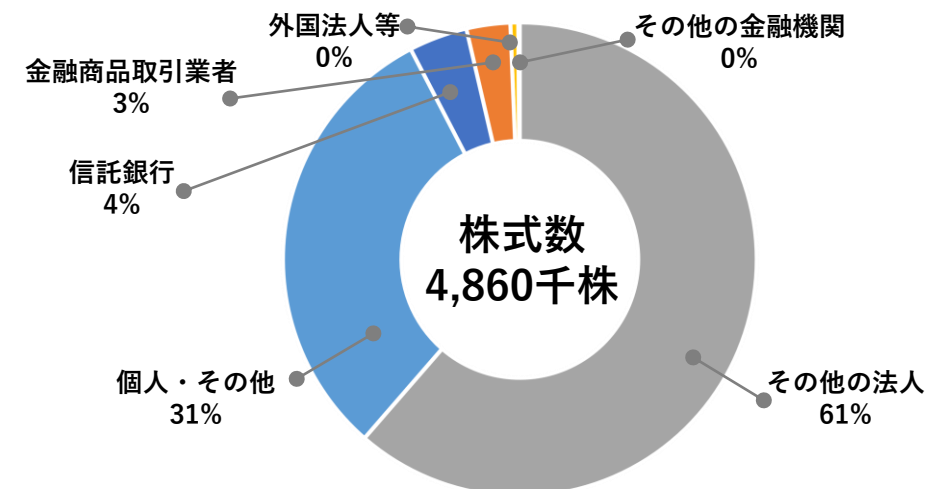
所有者別状況

項目区分	株式数		株主数	
	(株)	%	(名)	%
政府・地方公共団体	-	0.0%	-	0.0%
金融機関	銀行	-	-	0.0%
	信託銀行	194,100	1	0.1%
	生命保険	-	-	0.0%
	損害保険	-	-	0.0%
	その他金融機関	5,300	1	0.1%
金融商品取引業者	145,369	3.0%	20	1.0%
その他の法人	2,983,500	61.4%	34	1.8%
外国法人等	25,900	0.5%	14	0.7%
個人・その他	1,506,131	31.0%	1,850	96.4%
合 計	4,860,300	100.0%	1,920	100.0%

議決権あり株主数	1,789名
総議決権数	48,590個

大株主上位10位

	株主名	株式数	%
1	株式会社ASO	2,800,000	57.6%
2	阿曾敏正	399,700	8.2%
3	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	194,100	4.0%
4	光通信株式会社	119,800	2.5%
5	岩見好為	54,000	1.1%
6	加藤英次	50,000	1.0%
7	楽天証券株式会社	48,400	1.0%
8	株式会社SBI証券	45,200	0.9%
9	田中博	35,500	0.7%
10	榎本悦男	20,000	0.4%



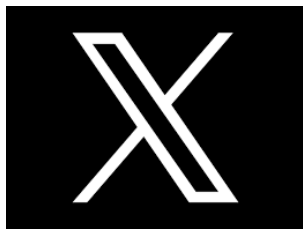
免責事項

☞掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。

☞本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。

☞なお本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。

☞今後リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容と異なる可能性もございます。予めご了承ください。



X(旧Twitter) ASO公式アカウント開設
株式・株価に関する情報をお届けいたします。
みなさまのフォローをお待ちしております。

@ASO_9340



ASO International, Inc.
Orthodontic Laboratory Services

お問い合わせ

株式会社アソインターナショナル 管理部
〒104-0061 東京都中央区銀座2-11-8
email : ir@aso-inter.co.jp

【東京証券取引所スタンダード市場：9340】